



# ともだち

〈編集・発行〉  
社会福祉法人 府中市社会福祉協議会  
府中市立心身障害者福祉センター  
〒183-0026  
府中市南町5丁目38番地  
TEL 042-360-1313 (代)  
FAX 042-368-6127  
メール fs\_mail@f-sinsyo.jp  
http://www.f-sinsyo.jp

## ～ あゆの子から皆さまへ。41年間の感謝を込めて ～

「子ども発達支援センター あゆの子」は 令和6年4月から 新たな一步を踏み出します！  
心身障害者福祉センターで、育まれた「あゆの子」は、新設の「府中市子ども発達支援センター はばたき」の事業に継承されます。

センターで、地域で、子どもたちの成長をあたたく見守って応援して下さった皆さま、あゆの子出身の頼もしい先輩たち、長い間ありがとうございました。矢崎町へと場所は変わりますが、職員も子どもたちも、引き続き楽しく元気に活動していきます。新しくお付き合いの始まる地域の皆さん、これから利用される皆さんとも仲良くできますように。これからも見守っててくださいね。

### あゆの子のあゆみ

- 【昭和57年】府中市立心身障害者福祉センター開設と同時に「幼児訓練事業」としてスタートしました。  
前身は昭和44年設置の府中市幼児訓練事業です。
- 【平成6年】あゆの子」と命名される。  
多摩川でそだち戻ってくる鮎のようにたくましく！
- 【平成10年】通園以外の子どもたちにも療育をとどけたい…  
外来グループ指導開始（2グループ）
- 【平成15年】「子ども発達支援センターあゆの子」として発達相談・外来・通園という現在の形に。
- 【平成16年】幼稚園保育園などに、もっと療育のことを伝えたい…  
「関係機関職員研修」開始
- 【平成25年】保育所等訪問（巡回）開始
- 【平成29年】しみずかおか分室開設（～令和3年）
- 【令和5年】あゆの子から引き続き「府中市社会福祉協議会」が「府中市子ども発達支援センター 児童発達支援部門」を受託することが決まる。

### あゆの子は41年間で…

かかわった子どもたちは3050人を超えました。  
新規相談は年間200人を超えるようになり、2グループからはじまった外来グループ指導は、今年度 42グループ約350人が利用する大所帯に。  
あゆの子に通っていた子どもたちは、学校に入ってもプールやイベントに来てくれたり、「作業生活実習訓練」のお兄さんやお姉さん、「み～な」の就労支援を利用して働く社会人になっている人が沢山います。長くお付き合いできるのが心身障害者福祉センターのステキなところでした。寂しいけれど巣立っていきます。  
そして「はばたき」ではどんな出会いが待っているかな。ドキドキワクワク準備を進めています。

『府中市子ども発達支援センターはばたき』は…  
切れ目のない支援をコンセプトに、教育と一体となった施設です。詳しくは府中市のホームページなどをご覧ください。



## はばたけ！あゆの子 ～卒園によせて～

あゆの子の 有終の美をかざる 今年の卒園児の保護者の皆さまから一言ずついただきました。

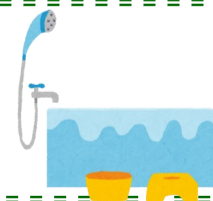
年中からの2年間、本当にありがとうございました。我が子も、同級生の子も成長する時はあっという間で、いつの間にか出来る事が増えていますね。沢山の驚きと喜びと笑いと涙をいただいた2年間でした。先生方の誠実さや優しさに支えられました。ありがとうございました。  
たいき/父

外来で1年、通園で2年お世話になりました。たくさんの不安を抱えて入園しました。そのたくさんの不安は少しずつ解消されています。先生方のご指導のもと成長できました。あゆの子での3年間は一生忘れることのない3年間です。ありがとうございました。  
金子蒼/母

めだかグループから、年長までの約4年間、大変お世話になりました。とってもマイペースな息子ですが、入園当初から、見違えるほどの成長を見せてくれました。日々先生方の丁寧なコミュニケーションとご指導のおかげです。4年間本当にありがとうございました。  
片山凌玖/母

3年間あゆの子に通って先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。最初の頃は床をズルズルして、ふさぎ込みがちだったのが年長になってから毎日楽しいと言って通っています。あゆの子で過ごした日々は忘れません。本当にありがとうございました。  
翔太/母

センターからのお知らせ  
障害者手帳をお持ちの方に浴室を貸し出しています。  
使用条件等ありますので、詳しくはセンターまでお問合せください。



# 前進！

## 外出行事復活！！

～作業生活～



さぎょうせいかつじっしゅうくねん (せいかつかいご)

### 作業生活実習訓練 (生活介護)

現在18歳以上の知的障害、身体障害の方を対象に通所事業を行っています。運動・音楽・工作等のプログラムを一人ひとりに合わせて組み立てる生活実習部門と、陶芸・革工作・紙すき等作業活動を中心に行う作業部門に分かれています。

今年度からコロナも規制なしという事になり、コロナ前に行っていた外出行事が復活して、作業生活も前進しましたということで、外出行事の一部を写真と共に掲載します！

### ☆聖蹟桜ヶ丘ショッピング☆

聖蹟桜ヶ丘ショッピング班では、職員と一緒に駅近くの京王ショッピングセンターでランチを食べたり、自分のほしいものや家族へのお土産を買って、満足そうな顔も見られていました！



職員と一緒に好みのタオルを選んだり、ご家族にお菓子を買ったりする方もいらっしゃいました。



ショッピングセンター内にある洋食料理店にて、ハンバーグランチを美味しく召し上がっていました。

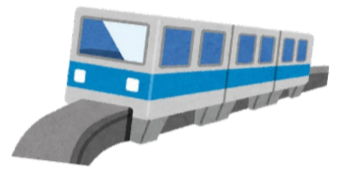


### ☆ららぽーと立川立飛☆

ららぽーと立川立飛班では、電車、モノレールに乗り、ららぽーとに向かい、ランチや買い物をして、みなさん職員と一緒に楽しまれていました！



職員と一緒に何を買おうか悩まれている様子が見られていました。



おやつ休憩にスムージーを飲んで、一息ついてららぽーとを満喫されたようでした。



紹介しきれなかったですが、他にもサンリオピューロランドや館内企画に参加された利用者さんもあり、コロナ期間で自粛していた外出行事をみなさん職員と一緒に楽しんでくれたと感じています。今後も利用者の皆様が楽しめるような行事をできたらと思います。



まち かせ  
街の風  
その59  
かほしま こうし  
樫島 剛之  
「買いやすくなった薬局」

最近、店のレジに並ぶ時、商品棚の間の通路が狭く、商品棚にぶつかりそうになる事がある。それに、サイドにある商品が欲しい時も自由に手が効かない僕は、いつも(どうしようか?)と悩んでしまう事がある。僕がよく利用する薬局も同じ様な造りをしていく。

この頃、僕は電動車椅子の運転に自信がなくなってきた。というのは、僕の左手が前よりも効かなくなってきたから。その所為で、急に止まったり、曲がったりする事が多くなってきた。だから、最近、小さな店に入る事をためらってしまいう事があり、細い道を通ると、肘を扉にぶつけて怪我する事も多くなってきた。

この間、久しぶりに観たい映画があったので、映画館に行った。その映画館は、席に着くまでエレベーターに乗ったり、細い通路などを通らなければ行けなかったが、手は上手く効かず、僕が止まる度に「どうしましたか?」とか「大丈夫ですか?」と言ってくれた。でも、気を遣ってくれると、僕は余計に慌てて、手が硬直してしまい上手く操作が出来なくなってきた。僕は(こんな簡単な操作なのに)と思ったが、現実には段々、操作が出来にくくなっているのは、確かだ。

この間、細い道を通った時、肘を怪我してしまったので、薬局に傷薬を買いに行った。買い物が終わって、いつもの様にレジに並ぼうと思ったら、店員に「隣の通路ですよ」と言われたので、僕は(そうだったか?)と思いながら行くと、その通路はとても広くなくて、車椅子の操作が下手になってきた僕でも、ぶつからずに済むような広さの通路があった。僕は訳もなく嬉しくなった。これで何時でも傷薬を買いに行ける・・・(?)

#### 樫島剛之さんの紹介

脳性まひによる四肢体幹機能障がい(両手足が不自由・電動車椅子を使用)昭和42年生まれ。平成11年より念願の一人暮らしを始める。福祉センター肢体不自由者当事者相談員(ピアカウンセラー)。  
『かばのOH!あくびく』中年編を季節を感じながら歩いた街かごとで、迷子になったぼく』を出版されています。